

一足早く春を告げる^{ねはんざくら}涅槃桜

宝物館西側の弘田川沿いの塀ごしには、独特の甘い香りを漂わせて咲く、珍しい桜の木があります。ソメイヨシノよりも早く3月初旬につぼみが膨らみはじめ、満開の時期がお釈迦様にろうめつの入滅したねはん(涅槃)旧暦2月15日(現在の3月上旬)に近いことから、「涅槃桜」と呼ばれています。

この桜の品種名はミヨウショウジザクラ。昭和48(1973)年の弘法大師生誕1200年を記念して、桜の発見地である新居浜市の明正寺みしょうじから贈られた貴重なものです。総本山善通寺に春を告げる花として、毎年開花が待ち望まれています。

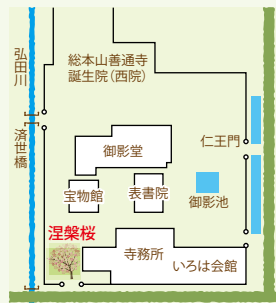
済世橋に続く駐車場の北にもあり、春にはその色と香りで参詣に訪れる多くの人を魅了します。毎年、総本山善通寺や善通寺市のホームページで開花のニュースが掲載されます。



満開の涅槃桜



春を告げる涅槃桜



■ 善通寺町三丁目3-1

● JR善通寺駅から徒歩約18分